

## 第14回 信州登山案内人試験【共通問題】

各設問の解答を、解答用紙に記入すること。

(信州登山案内人条例、長野県登山安全条例、法的責任)

問1 信州登山案内人条例上、信州登山案内人の禁止行為としてあてはまるものを2つ選び、記号を書きなさい。

- (ア) 登録の有効期間が満了している場合に、登録更新の手続きをしないこと。
- (イ) 特別な理由がない場合に、登山等の案内にかかる所定の料金以外の金品を請求すること。
- (ウ) 登録証の記載事項に変更があった場合に、当該箇所の修正を自らすること。
- (エ) 山岳の魅力を伝えるため、登山等の案内を受けるよう勧奨すること。

問2 信州登山案内人に関する県の責務を2つ選び、記号を書きなさい。

- (ア) 信州登山案内人の周知に努めること。
- (イ) 信州登山案内人にガイドの依頼を取り次ぐこと。
- (ウ) 信州登山案内人の活用の機会を確保すること。
- (エ) 信州登山案内人のガイド料金を定めること。

問3 長野県登山安全条例第2条第1号に規定する「登山者」の定義から除外されている者を2つ選び、記号を書きなさい。

- (ア) 山小屋、避難小屋又は売店等の設置又は運営の業務に従事する者
- (イ) 公的な資格に基づく登山案内の業務に従事する者
- (ウ) 山岳遭難の未然防止に関する業務に従事する者
- (エ) 山岳で山菜やきのこ採りをする者

問4 長野県登山安全条例に関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選び、記号を書きなさい。

- (ア) 信州登山案内人等の登山ガイドは、登山に関する技術の向上に努め、登山者の安全確保に努めなければならない。
- (イ) 県は、遭難の発生のおそれが高いと認められる山岳の登山道を指定登山道に指定し、すべての当該登山道を直接整備しなければならない。
- (ウ) ツアー登山を実施する旅行業者は、当該ツアー登山に関する十分な知識、技術及び経験を有する登山ガイドを同行させなければならない。
- (エ) 登山者に限らず、観光客であっても指定登山道を通行しようとするときは、あらかじめ登山計画書を知事に届け出なければならない。

問5 長野県の山岳に関する条例に関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選び、記号を書きなさい。

(ア) 長野県登山安全条例は、長野県の登山の安全対策を総合的に推進し、もって登山者の本県への来訪及び滞在を促進し、本県の観光の振興に寄与することを目的としたものである。

(イ) 長野県山岳総合センター条例では、山岳に関する研究及び調査並びに安全な登山に関する知識及び技能の普及啓発その他の山岳における野外活動に関する教育事業並びに山岳における野外活動に関する普及事業を行うため、同センターを大町市に設置すると定めている。

(ウ) 長野県信州登山案内人条例は、長野県内において登山やハイキング等を行う観光客に付き添って案内を行い、報酬を受ける山岳ガイド「信州登山案内人」の資格を定めた許可制度である。

(エ) 長野県立自然公園条例では、県立自然公園ごとに、各県立自然公園内の自然の風景地の保護とその適正な利用を図るための規制に関する事項などについて公園計画を定めることとしている。

問6 平成18年10月に北アルプス白馬岳で発生した遭難事故では、山岳ガイドが企画した登山ツアーに参加した女性客5名のうち4名が低体温症で死亡し、刑事責任が問われた。この判例について、次のうち誤っているものを1つ選び、記号を書きなさい。

(ア) 山岳ガイドは山の天候について慎重に判断すべき立場にあり、著しい天候の悪化の可能性が予見される場合には、登山を中止するなどして遭難事故の発生を回避する義務が生じる。

(イ) 低体温症の原因や危険性など登山に関する基本的な知識は、通常の間岳ガイドであれば備えているべきものである。

(ウ) 山岳ガイドには、登山客の服装、装備について絶えずチェックし、暑さ、寒さの程度や天候の変化の見込みに応じて脱ぎ着を指示し、確認することが求められることから、登山客が防寒用の服をリュック内に携帯している場合でも、自らの判断で着衣を調整することを期待してはならない。

(エ) 登山コースの地形的特徴等は、登山ツアーを引率する通常の間岳ガイドであれば当然に把握しているべき事情であるとまでは言えない。

問7 タケシとリョウは、登山について話をしています。下線(ア)～(エ)のうち、正しいものを1つ選び、記号を書きなさい。

タケシ：最近、長野県での山岳遭難が増えているね。コロナ禍での移動制限が緩和された影響もあって、(ア) 遭難件数は令和5年が過去最多だそうだよ。

リョウ：そうだね。(イ) 自然公園内では、登山道以外の場所を歩くことは法律上禁止されている。整備された登山道を外れると道迷いや滑落をしやすいし、危ないよ。

タケシ：でも、(ウ) 登山道にある古いハシゴや鎖、木道は、誰が設置したか不明なものが多いから、注意が必要だね。

リョウ：(エ) 長野県で登山をするときには、どの山に登る場合でも登山計画書を出す義務があるから、必ず出すようにしよう！

(自然公園)

問8 自然公園について、次の文中の①～⑩にあてはまるものを選択肢から選び、記号を書きなさい。

1. 自然公園法は、優れた自然の風景地を保護するとともに、その利用の増進を図ることにより、国民の保健、休養及び教化に資するとともに、①に寄与することを目的としている。

(ア) 山岳文化の伝承 (イ) 希少動植物の保護 (ウ) 生物の多様性の確保 (エ) 国土保全機能の向上

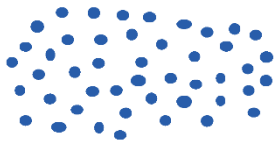
2. 長野県内の自然公園は、国立公園が5地域、国定公園が②地域、県立自然公園が5地域である。

(ア) 3 (イ) 4 (ウ) 5 (エ) 6

3. 長野県の自然公園面積は県土の約  %を占め、北海道、新潟県に次いで、全国第3位の広さを誇る。
- (ア) 16 (イ) 21 (ウ) 26 (エ) 31
4. 環境大臣は国立公園について、都道府県知事は国定公園について、当該公園の景観を維持するため、特に必要があるときは、公園計画に基づいて、特別地域内に  を指定することができる。
- (ア) 第1種特別地域 (イ) 利用調整地区 (ウ) 風景地保護地区 (エ) 特別保護地区
5. 国立公園及び国定公園の特別保護地区内において、木竹の伐採や植物の採取等をするためには、国立公園では  の、国定公園では  の許可が必要である。
- (ア) 自然保護官 (イ) 市町村長 (ウ) 都道府県知事 (エ) 環境大臣
6. 長野県版レッドリスト(2015年)において、絶滅危惧IB類に分類されている  の生息状況を把握し、保護対策のための基礎データとするため、スマートフォンを用いた目撃情報投稿アプリ「ライポス」を活用し、登山者等からの目撃情報を収集している。
- (ア) クマタカ (イ) ハヤブサ (ウ) アカモズ (エ) ライチョウ
7. 長野県自然保護レンジャーは、自然公園などの保護及び  並びに  に関する意識の高揚を図るためにボランティアとして活動している。
- (ア) 自然環境の保全 (イ) 森林の伐採 (ウ) 遭難者の捜索 (エ) 適正な利用
8. 「重要な地形・地質とそれに付随する文化」を対象とする日本ジオパークと、「生態系の保全と持続可能な利活用の調和」を目的にしているユネスコエコパークの両方に登録されているのは  である。
- (ア) 志賀高原 (イ) 北アルプス (ウ) 南アルプス (エ) 苗場山麓

(読図)

問9 次の①～④の国土地理院の地図記号は、それぞれ何を表しているか正式名称を書きなさい。

| ①                                                                                   | ②                                                                                   | ③                                                                                    | ④                                                                                     |
|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
|  |  |  |  |

問10 次の文中①～⑥にあてはまるものを選択肢から選び、記号を書きなさい。

1. 谷の右股、左股は  に向かって右、左の谷のことである。
- (ア) 下流 (イ) 上流 (ウ) 本流 (エ) 支流
2. 地図の真上は北の方向であるが、日本付近では磁石のN極の指す方向(磁北)はそれより  にずれている。
- (ア) 東 (イ) 西 (ウ) 南 (エ) 北
3. 国土地理院が発行した5万分の1の地形図では、地図上の1cmは実際には  である。
- (ア) 5m (イ) 50m (ウ) 500m (エ) 5000m

4. 国土地理院が発行した2万5000分の1の地形図では、10mごとに引かれている等高線は  である。
- (ア) 主曲線 (イ) 副曲線 (ウ) 計曲線 (エ) 補助曲線
5. 山頂直下に見られる半円形ないし半楕円形の氷食凹地を  という。
- (ア) キレット (イ) 窪地 (ウ) カール (エ) モレーン
6. ピークがふたつ並び、その間の低くくぼんだところを  という。
- (ア) 峡谷 (イ) 鞍部 (ウ) 稜線 (エ) ゴルジュ

(植物、植生、動物)

問11 植物、植生、動物について、次の文中の①～④にあてはまるものを選択肢から選び、記号を書きなさい。

1. 登山口から高度をあげていくと、高かった木が次第に低くなり、ハイマツや高山植物等限られた植物だけが生育できる植生へと変化する。このような標高に応じて植物・植生の分布が変わることを  という。
- (ア) 垂直分布 (イ) 隔離分布 (ウ) 山岳分布 (エ) 水平分布
2. 長野県の山岳には、氷期に北方から南下して、その後の温暖期に高山に生き残った  が数多くあり、世界的な分布南限となっている高山植物が多い。
- (ア) 遺存種 (イ) 固有種 (ウ) 希少種 (エ) 新種
3. 本州では八ヶ岳と飛騨山脈（北アルプス）北部の高山帯のみに遠隔分布しているオオバコ科の多年草で、千島列島ではハマレンゲと呼ばれている高山植物は  である。
- (ア) ヘラオオバコ (イ) コマクサ (ウ) ウルップソウ (エ) レンゲ
4. 長野県では県内の希少な野生動植物の保護施策を推進するため、長野県希少野生動植物保護条例で指定希少野生動植物を指定している。高山植物では、木曽山脈（中央アルプス）のみに分布し長野県固有種である  や、本州では飛騨山脈と八ヶ岳のみに分布するキンポウゲ科でオキナグサの仲間の  などが指定されている。
- (ア) ハヤチネウスユキソウ (イ) コマウスユキソウ（別名ヒメウスユキソウ）  
(ウ) ミネウスユキソウ (エ) エーデルワイス (オ) ウルップソウ  
(カ) ミヤマキンポウゲ (キ) ツクモグサ (ク) シナノキンバイ
5. 長野県では、近年、ニホンジカが高山帯・亜高山帯に進出するようになり、ニッコウキスゲなどの嗜好性の高い高山植物が採食される一方、キク科の  やシュロソウ科のバイケイソウなど忌避する植物が繁茂する様子もみられる。
- (ア) マルバダケブキ (イ) ユウスゲ (ウ) トリカブト類 (エ) アツモリソウ
6. 登山者の登山靴などに付着して、本来生育していなかった  などの外来種が高山に侵入することを防ぐため、登山口では種子除去マット等で靴底の土を落として入山することが望ましい。
- (ア) シナノタンポポ (イ) エゾタンポポ (ウ) セイヨウタンポポ (エ) シロバナタンポポ
7. ツキノワグマは、 中心の雑食性である。ツキノワグマは高山帯もよく利用するが、山小屋やテント場等での食料品や人身被害の発生を防ぐため、 や食べ物の徹底管理が重要である。
- (ア) 植物食 (イ) 昆虫食 (ウ) 魚食 (エ) 肉食  
(オ) 水場 (カ) トイレ (キ) 生ゴミ (ク) 高山植物

8. ⑩は、体長 25cm 前後のイタチ科の肉食性の哺乳類で、長野県の天然記念物に指定されている。中部山岳では、高山帯の岩場などで岩の隙間から出入りして活動している様子を見ることがある。
- (ア) テン (ホンドテン) (イ) キツネ (ウ) ツキノワグマ (エ) オコジョ (ホンドオコジョ)
9. 大型草食哺乳類の⑪は、なわばりをつくって守るため、ある場所での生息数があまり変動しないのに対し、ニホンジカはなわばりをつくらず⑫をつくって個体数を増やしながら生息域を広げる違いがある。
- (ア) イノシシ (イ) ノウサギ (ウ) テン (エ) カモシカ  
(オ) 群れ (カ) 寝ぐら (キ) ため糞 (ク) つがい
10. 中部山岳域の高山帯には、高山植物と同様に、氷期に大陸から移入して高山に生き残ったライチョウが生息しており、長野県の県鳥となっている。ライチョウは北半球北部に広く分布するが、日本では⑬には生息しない。
- (ア) 岐阜県 (イ) 新潟県 (ウ) 北海道 (エ) 富山県
11. 霧ヶ峰などの草原に生育するクガイソウを食草とする⑭が、ニホンジカによる食草の採食圧により、近年その生息域が大きく減少するなど、ニホンジカの生態系への影響は植物だけでなく動物にも及んでいる。
- (ア) コヒョウモンモドキ (イ) ミヤマシロチョウ (ウ) オオルリシジミ (エ) タカネヒカゲ

(気象、天気図)

問 12 次の文中①～④にあてはまるものを選択肢から選び、記号を書きなさい。

長野県の夏の気象の特徴は、梅雨の初期は、曇りや雨の日も多いですが、①が本州の南海上や南岸に位置する場合、北部中心に晴れ間もあります。

また、①が長野県に停滞あるいは①上に低気圧が発生し、西日本から接近してくる場合や、南海上からは台風などが北上する場合、大雨となることがあります。

梅雨明け後は、②に覆われ、日中昇温すると、山沿いを中心に発雷し短時間強雨となる日が多くなります。

上空に③が入ってくると、午後には大気が不安定な状態となり、この時も強い上昇気流が発生して④にまで発達し、局地的な激しい雨を降らせます。

- (ア) 秋雨前線 (イ) 台風 (ウ) 熱帯収束帯 (エ) 梅雨前線  
(オ) 太平洋高気圧 (カ) 黄砂 (キ) シベリア高気圧 (ク) 温帯低気圧  
(ケ) 水蒸気 (コ) 海風 (サ) 寒気 (シ) 暖気  
(ス) 巻層雲 (セ) 低気圧 (ソ) 積乱雲 (タ) 巻雲

問 13 次の説明文にあてはまる気象現象等を選択肢から選び、記号を書きなさい。

1. 次々と発生する発達した雨雲(積乱雲)が列をなした、組織化した積乱雲群によって、数時間にわたってほぼ同じ場所を通過または停滞することで作り出される、線状に伸びる長さ 50～300 キロメートル程度、幅 20～50 キロメートル程度の強い降水をともなう雨域。

- (ア) 線状降水帯 (イ) 熱帯低気圧 (ウ) 日本海寒帯気団収束帯(JPCZ) (エ) 温暖前線

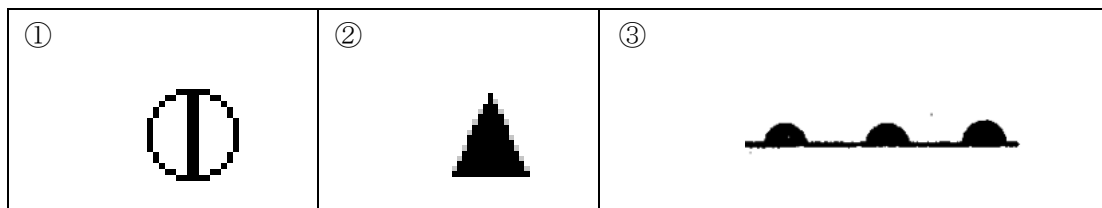
2. 太平洋赤道域の日付変更線付近から南米沿岸にかけて海面水温が平年より低くなり、その状態が 1 年程度続く現象で、数年おきに発生する。

- (ア) 偏西風 (イ) エルニーニョ現象 (ウ) ラニーニャ現象 (エ) 地球温暖化

3. 天気、最高気温、雨量などの予報要素を直接示す予測資料。数値予報データ及び観測・解析データを利用し、統計手法を用いて作成される。

(ア) 天気図 (イ) アメダス (ウ) ウインドプロファイラ (エ) ガイダンス

問 14 次の天気記号がそれぞれ何を表しているか正式名称を書きなさい。



(登山の常識)

問 15 次の文中①～⑧にあてはまるものを選択肢から選び、記号を書きなさい。

1. 長野県は、県内に火口を有する常時観測火山を  つ抱える全国でも有数の火山県である。

(ア) 4 (イ) 5 (ウ) 6 (エ) 7

2. 明治44年  は、浅間山に日本で最初の火山観測所が設置され、観測が始まった日で、国は②を「火山防災の日」に制定した。

(ア) 7月26日 (イ) 8月26日 (ウ) 8月27日 (エ) 9月27日

3. 日本で一番長い川と呼ばれる信濃川(千曲川)の源流の山は  である。

(ア) 甲武信ヶ岳 (イ) 立山 (ウ) 雲取山 (エ) 北岳

4. 槍ヶ岳には東西南北から稜線が連なるが、それぞれの方位とその方位にある山名や登山道名称の組み合わせで誤っているものは  である。

(ア) 北ー独標 (イ) 南ー大喰岳 (ウ) 東ー喜作新道 (エ) 西ー西岳

5. 信州 山のグレーディングの技術的難易度の登山道定義で「◇緊張を強いられる厳しい岩稜の登下降が続き、転落・滑落の危険箇所が連続する」のは、技術的難易度  である。

(ア) C (イ) D (ウ) E (エ) F

6. 深田久弥が名峰100座を選んだ「日本百名山」に選ばれた山がない県は  である。

(ア) 茨城県 (イ) 岡山県 (ウ) 鳥取県 (エ) 福井県

7. 諏訪郡富士見町出身の登山家、平出和也さんが4回受賞した  賞は、困難な山岳登攀を達成した偉業を讃えるもので、登山界最高の栄誉とされる。

(ア) ピオレドール (イ) ビオレソール (ウ) ビレオドール (エ) ピオレゾール

8. 雪渓や氷河に接する岩壁との間にできる空洞は  と呼ばれ、歩行の際には、落下しないよう細心の注意が必要である。

(ア) クラック (イ) シュルンド (ウ) チムニー (エ) ガリー

(ガイディング技術)

問 16 登山中に事故が発生し、救助要請が必要な場合の対応として、次の対応を正しい順番に並べて書きなさい。

①110番または119番通報し、救助要請を行う。

②事故の状況を把握する。

③事故者以外の顧客を安全な場所に移動させる。

④事故者以外の顧客を安全に下山させる。

⑤警察・防災の指示を仰ぐ。

問 17 ガイドに必要なロープ技術について、正しいものを1つ選び、記号を書きなさい。

- (ア) 整備された登山道をガイドする際にロープは必要ないが、万が一滑落や転落事故が起きた場合に顧客の安全を確かめたり、引き上げたりすることが必要であるから、ロープワークを身に付ける必要がある。
- (イ) 立木などにテープスリングを固定し、支点（アンカー）を構築するのに有用な結び方には、ツーバイトやボーライン・ノットがあり、場面、状況により使い分ける。
- (ウ) フリクションヒッチは、固定されたロープに、それより細いロープ等を巻き付け、最大限の摩擦力を得て固定・稼働する結びである。
- (エ) 確保支点の構築は、2点以上の支点（アンカー）を使うことが望ましく、これによりどれか1点が欠けた場合でも安全性が確保されることから、支点にかかる荷重を均等に分散する必要はない。

問 18 登山やハイキングに関係するサプリメントについて、正しい組み合わせの選択肢を1つ選び、記号を書きなさい。

- ☐A：タンパク質の最小単位。吸収が早い。
  - ☐B：糖と☐Aが結合したもの。関節の軟骨生成に重要な役割を果たす。
  - ☐C：皮膚、靱帯、軟骨などを構成するタンパク質のひとつ。
- (ア) ☐A：コラーゲン      ☐B：グルコサミン      ☐C：アミノ酸
- (イ) ☐A：グルコサミン      ☐B：アミノ酸      ☐C：コラーゲン
- (ウ) ☐A：アミノ酸      ☐B：コラーゲン      ☐C：グルコサミン
- (エ) ☐A：アミノ酸      ☐B：グルコサミン      ☐C：コラーゲン

問 19 出発前の準備に関する次の説明のうち、誤っているものを1つ選び、記号を書きなさい。

- (ア) まず行うことは、ガイド自身の自己紹介。時間の都合で省略する場合もあるが、引き続き参加者の簡単な紹介も行う。
- (イ) 案内するコースの概要と行動上の注意点を説明する。一般的には、休憩予定場所、トイレの場所、所要時間、昼食の予定場所、終了予定時間などを案内する。
- (ウ) 天気の推移を予測し説明する。ガイド自身の確認を含めて、参加者に解説する。
- (エ) 参加者の歩く際の順番を決める。原則は、初めての方や足の弱い方は列の最後を歩いてもらう。

問 20 危急時の対応と備えに関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選び、記号を書きなさい。

- (ア) ツェルトにより危急時の休息場所を確保できる。ガイド時には収容人数の大きいものを携帯する。
- (イ) 初心者向きの散策路であっても、危険を感じたら、顧客に対してクライミングロープ等を使用して確保姿勢を取ると安心である。
- (ウ) 積雪期のビバークには雪洞が有効である。雪崩の危険や強風等を避けられる場所に、スコップを使用して横穴を掘る。スコップがない場合は、素手やクッカー、ピッケル等あるものを使用する。
- (エ) トラブルにより日没を迎えてしまい、行動不能になるリスクがあることから、ヘッドライトは顧客の分も含めて複数所持すると安心である。

問 21 タカシとハナコがガイド付き登山に参加した際の感想を話しています。下線(ア)～(エ)のうち、山岳ガイドとして誤った対応を1つ選び、記号を書きなさい。

ハナコ：初めての岩稜帯登山は、やっぱりガイドをお願いして正解だったね！

タカシ：そうだね。とくに傾斜地を横に歩く（トラバース）ときは少し怖かったな。お年寄りを案内している他のガイドは、(ア) トラバースのときにロープを出していたね。

ハナコ：ガイドはもっと歩くスピードが速いと思っていたけど、(イ) 歩くのがゆっくりだったね。普段より疲れなかった気がするわ。

タカシ：日帰りだったから僕たちは小さいリュックで行ったけど、ガイドはとても大きな荷物だったね。「(ウ) 何かあったときのための非常用の装備を持っているから」と言ってたね。

ハナコ：ゴミはきちんと持ち帰るのが基本とも教えてくれたわね。でも(エ) 果物の皮とかは微生物が分解してくれて自然に還るから捨てても大丈夫だとも教えてくれて勉強になったわ。

問 22 行動時間と休憩に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選び、記号を書きなさい。

(ア) 行動予定時間を予測するには、一般登山道であれば、ガイドブックや登山地図に記載されているコースタイムをそのまま使用すればよい。

(イ) 登山は、できるだけ休まずに早く歩くことが基本である。

(ウ) 休憩時には、エネルギー補給や衣類の着脱による体温調整、地図での現在位置の確認等を行う。

(エ) 休憩は、安全で、一定の広さのある場所で、常に山側を背にして行う。

問 23 冬季のハイキングで想定され得るリスクに当てはまるものをすべて選び、記号を書きなさい。

(完答)

(ア) 登山道の積雪や路面の凍結によるスリップ・滑落

(イ) 強風等による凍傷・低体温症

(ウ) ホワイトアウトによる道迷い

(エ) 雪崩

(セルフレスキュー)

問 24 登山中に遭遇する傷病について、説明と合致するものを選択肢から選び、記号を書きなさい。

①人が高度 2500 メートルを超える環境にさらされた際に生じる、高度に対する適応障害

②身体の冷却機能が十分に働かず、異常に体温が上がった状態

③身体の表面から奪われていく熱に対して、体内の熱産生が追い付かずに体温が低下してしまう状況

④山では平地より気圧が下がることで酸素の取り込みが悪くなることから、普段の生活で症状が出ない人でも登山中には注意が必要な傷病

(ア) 低体温症      (イ) 高山病      (ウ) 心臓病      (エ) 熱中症      (オ) 糖尿病

(カ) 高血圧症      (キ) 慢性呼吸器疾患

問 25 ファーストエイドで使用する救急用品について、説明と合致するものを選択肢から選び、記号を書きなさい。

①止血時など感染症予防や血液による汚れを防ぐときに使うもの

②体温の低下を防ぐために使うもの

③傷の被覆や保護、傷口の皮膚接合などに使用する不織布製パットがついたもの

④負傷箇所の固定、傷口の保護、圧迫止血の当て布など、応急手当のいろいろな場面で使われるもの

⑤腕などを骨折した時に、シャツなどの裾を短く留めて腕を固定するときに便利なもの

⑥捻挫した足首を固定するときなどに使用するもの

(ア) レスキューシート (イ) ワセリン (ウ) ビニール手袋 (エ) 三角巾 (オ) 救急絆創膏

(カ) 安全ピン (キ) テーピングテープ (ク) サージカルテープ (ケ) 防水パット

(コ) ハサミ